平成３０年度　第３回袖ケ浦市文化財審議会

１　開催日時　　平成３０年１１月１３日（火）
　　午後１時３０分～午後３時３０分

２　開催場所　　市役所２階会議室(一)

３　出席委員

会　長	山田　常雄	委　員	鈴木　仲秋
委　員	梶原　正方	委　員	日塔 和彦
委　員	笹生　衛		

４　欠席委員

副委員長	成田　篤彦	委　員	髙橋　克

５　出席職員

教育長	御園　朋夫	副主査	簑島　正広
生涯学習課長	小阪　潤一郎	副主査	大河原　務
副課長	稲葉　理恵	学芸員	鎌田　望里
主　査	田中　大介		

６　傍聴定員と傍聴人

傍聴定員	５人
傍聴人数	１人

７　議　題
（１）市指定文化財の候補について
（２）指定文化財等案内板の設置について
（３）その他

８　報　告
（１）遺跡発表会の開催について
（２）袖ケ浦の郷土芸能の開催について
（３）出土遺物の公開について

９　議事等

４議題（１）市指定文化財候補について

事務局：資料により説明

笹生委員：所蔵場所についてはどのようになっているか
中世文書、裁許関連文書、奈良輪漁協関係文書等や、個人蔵のものについて市指定とする優先順位が高いと考える。

山田会長：所蔵場所の確認がまず必要である。

事 務 局：順次確認いたします。

鈴木委員：中世文書等これから出てくる可能性はあるか。神社などの本殿に残されていることもある。

日塔委員：建物の修理を行うときなどに確認することができる。

笹生委員：活用をすることで残されたものの価値を周囲に認識していただくことが重要である。

日塔委員：個人の蔵にもまだ収蔵されている可能性もある。

山田会長：袖ケ浦市は悉皆調査行っているのである程度、確認できているとは思うが。

笹生委員：新しい史料の発掘も大切であるが、現在確認できているもののなかから指定を行っていくことが必要である。袖ケ浦の景観が大きく変わってきている中で、都市計画的な活用もできると思う。

山田会長：次回までに、特徴的な古文書や所在の確認をお願いしたい。

事 務 局：承知しました。

山田会長：次の指定候補について説明をお願いします。

事 務 局：打越岱遺跡出土土偶について資料により説明

笹生委員：早期の土偶としては、貴重なものであり県レベルであると考える。
出土状況や、伴う土器についての検証を行う必要がある。典型的な時期を示す土器を附指定するのがよい。

山田会長：共伴土器の洗い出しをしたほうが良い。

笹生委員：包含層の広がりはどの程度か。

事 務 局：ピットの広がりと同じくらいの範囲に広がっている。

笹生委員：縄文時代早期の袖ケ浦の状況をまとめてストーリー性を持たせるとより、バックボーンがしっかりする。通常であれば遺構一括で考える。

山田会長：この資料については、指定に向けて進めるということでよろしいでしょうか。では、そのようにお願いします。

事 務 局：承知しました。

４議題（２）指定文化財案内板の設置について

山田会長：前回までの意見を含めて訂正をしていただきました、案内板の文

面についていかがでしょうか。

笹生委員：「葬られた人は」を「葬られた人物は」としたほうがよいのではないか。周溝が重複して出てきているので、そこは修正した方がよい。

鈴木委員：古墳群と第３号墳の間にスペースを入れた方が読みやすい。

日塔委員：所在地の下のところが全角空いている。

山田会長：指摘の部分の修正をお願いします。

事 務 局：承知しました。

午後３時３０分終了